

さいとう淳一郎の日々の街頭演説を、紙上でお伝えしています。

次の世代のために…

“子どもや孫たちが帰ってくるまちづくり”を目指して
栃木県議会議員

さいとう淳一郎街頭演説レター

第 6 号

発行日 平成 23 年 10 月 1 日

発行者 栃木県議会議員

さいとう淳一郎

〒329-2136 矢板市東町 3006-3

矢板の中心市街地を、“コンパクトシティ”として再生しましょう！

現在、全国各地の中心市街地はかつての賑わいを失い、「シャッター通り」となっています。大変残念ながら、矢板市の中心市街地～本通りや駅前通り～についても同じようなことが言えます。

しかしその一方で、最近、都市の機能を中心市街地に再び集める“コンパクトシティ”の考え方が注目されています。この“コンパクトシティ”は市街地を歩ける範囲に限定することで、高齢者に優しいまちづくりも可能になります。

近い将来やってくる「超高齢社会」では、例えばクルマに乗れなくなった中心市街地の高齢者の方は郊外の大型スーパーに買い物に行くことができず、都市部に住んでいながら「買い物難民」になってしまうと言われていています。大都市圏では既にそういった問題が表面化しています。

そこで『さいとう淳一郎』はこの“コンパクトシティ”の考え方によって、ミニ区画整理などを通じて、矢板駅西地区の中心市街地を再整備していくとともに、小規模な商圈に対応するスーパー、例えばかつての“ライオンドー”のようなスーパーの誘致にも取り組んでいきます。

また、中心市街地とその周辺部との間を、「乗り合いタクシー」や「デマンドバス」といった、使い勝手の良い、新しいタイプの公共交通機関で結ぶことで、中心市街地にやってくる人を一人でも増やしていきたいと考えています。

これまでの中心市街地活性化は、商店街の振興が主な目的でした。しかし商店主の方も地域の「生活者」の一人です。そうした「生活者」の目線に立って、『さいとう淳一郎』は、矢板の中心市街地を再生していきたいと考えています。